

# ヨコハマ 議会 だより

令和7年第4回市会定例会号  
発行 令和8(2026)年2月  
横浜市議会局  
〒231-0005横浜市中区本町6-50-10  
TEL 045-671-3040  
FAX 045-681-7388  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>



一般質問(12月10日)

令和7年第4回市会定例会が、11月26日から12月18日まで開催されました。(2面及び3面に、一般質問の一部を掲載しています)

## ▶議会基本条例とは？

議会と議員の役割や、市民と議会、議会と市長との関係など、議会に関する基本的なルールを定めた条例です。

市会及び市会議員が果たすべき役割などを明確にし、市民と共有することにより、豊かで潤いのある市民生活の実現を図ることを目的に、平成26年に制定されました。

## ▶市会運営委員会とは？

交渉会派(所属議員5人以上)の代表者によって、市会運営上の様々な事項に関して協議を行う委員会です。市会に関する条例の議案の審査等も行っています。

## 第4回 市会定例会概要

11/26 ▶ 12/18  
会期23日間

### 主な流れ

#### 11月26日 本会議(第1日)

- 議案の上程(給与条例関係)・質疑・常任委員会への付託・議決

#### 12月1日～3日 特別委員会

#### 12月4日 本会議(第2日)

- 議案の上程・質疑・常任委員会への付託

#### 12月10日 本会議(第3日)

- 一般質問(→2・3面へ)

#### 12月11日～16日 常任委員会

- 議案等の審査

#### 12月18日 本会議(第4日)

- 議案の議決
- 追加議案の上程・質疑・常任委員会への付託・議決

## もっと便利に!進化する横浜市会

横浜市会が令和7年に取り組んだ様々な見直しの一例を御紹介します。

横浜市議会基本条例では、横浜市会が果たすべき機能を最大限に発揮し、開かれた議会としていくために、伝統を重んじながら、柔軟な姿勢を持ち、自らの改革及び機能強化に継続的に取り組んでいかなければならないとされています。これを踏まえ、市会運営委員会が中心となって、様々な検討を行っています。

### インターネット中継に字幕を表示(5月～)

本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継(生中継・録画配信)で、AIによる音声認識システムで作成した字幕表示を開始しました。



インターネット中継についてはこちら▶



### 委員会資料がオンタイムで(9月～)

傍聴にお越しになった方に紙でお配りしている委員会資料が、委員会開会時点でインターネットでも見られるようになりました。(個人情報が含まれる資料など一部資料を除く)



▲委員会の活動・資料についてはこちら

### 委員会傍聴同時受付(2月～)

同じ日に複数の委員会が開催される場合に、傍聴の手続きを一括で行うことができるようになりました。



傍聴についてはこちら▶



### 請願がオンライン提出可能に(9月～)

陳情のオンライン提出(R6.4月～)に続き、請願もオンライン提出ができるようになりました。

#### <請願・陳情とは>

市政などについて意見や要望があるとき、誰でも請願書や陳情書を市会に提出できます。(請願には市会議員の紹介が必要です)

請願・陳情のオンライン提出についてはこちら▶



### 委員会記録速報版(6月～)

本会議同様に、委員会も、会議終了後1か月を目安に、委員会記録速報版の公開を始めました。(正式な記録が作成されるまでの間公開)



会議録速報版についてはこちら▶



### 市会運営委員会 藤代哲夫委員長から

市会運営委員会では、円滑で効果的な市会の運営に向けた協議・検討を行っています。

特に近年は、議会基本条例の制定から10年が経過したことも契機として、市民の皆様にとってより便利でわかりやすくなるよう、また、社会の変化に対応できるよう様々な見直しを行ってきました。今号では、令和7年に実現した取組を御紹介します。これらの取組が少しでも皆様のお役に立てば幸いです。

これからも二元代表制の一翼としてしっかりと役割を果たし、皆様に信頼される横浜市会となるよう取り組んでまいります。



▲市会運営委員会の様子

正面中央:藤代 哲夫 委員長  
右側:行田 朝仁 副委員長  
左側:藤崎 浩太郎 副委員長

## 39件の議案が可決されました

可決  
された  
主な議案

### 令和7年度横浜市一般会計補正予算(第3号)

小児医療費助成制度の拡充に向けた対応や、都心臨海部の魅力向上、図書館の利便性向上、夏の酷暑対策などの将来を見据えた施策の展開のほか、事業の執行状況を踏まえた補正を実施しました。(補正額:8億5,600万円)

### 令和7年度横浜市一般会計補正予算(第4号)

国の「強い経済」を実現する総合経済対策(令和7年11月)を踏まえ、子育て世帯に対する「物価高対応子育て応援手当」の支給に必要な事業費を補正しました。(補正額:111億7,500万円)

### 横浜市区づくり推進基金条例の制定

特定の区での活用を希望する寄附者のお気持ちに寄り添いながら、寄附金の着実な受け入れと活用を図り、寄附金の複数年度での柔軟な活用等を可能にするため、新たに「横浜市区づくり推進基金」を設置しました。

※各議案に対する各会派の賛否一覧は4面を御覧ください。



## 一般質問から

12月10日の本会議(第3日)において、市政全般に関する方針や事業などについて、各会派を代表して8人の議員が「一般質問」を行いました。その中から13項目を抜粋して掲載します。

【自民党】5問 ●横浜国際プールの周辺地域の魅力向上 ●地域防災拠点におけるペット防災 ●GREEN×EXPO 2027開催後の農業振興地区 ●高速鉄道3号線の延伸 ●AI時代における読書活動推進の意義	【維新会】1問 ●D24H(災害時保健医療福祉活動支援システム)  【国民主】1問 ●こどもホスピスへの取組支援
【公明党】2問 ●上瀬谷のまちづくり ●防犯対策の強化	【共産党】1問 ●新たな中期計画素案
【立憲党】2問 ●個人版ふるさと納税 ●動物園における循環型社会に向けた取組	【長谷川】1問 ●デジタル時代における子どもたちの成長を支えるICT教育

### まちづくり 上瀬谷のまちづくり 公明党

**問** 上瀬谷地区では、米軍基地跡地を活用した広域防災拠点整備や郊外部の活性化拠点づくりが進み、海軍道路の桜並木を継承した平和の象徴となる新たな名所づくりにも取り組んでいます。我が党は、桜を国境を越えた交流の架け橋として活用する意義を提唱してきました。改めて上瀬谷から平和を発信していくべきと考えます。

**答** 接収により長きにわたり土地利用が制限されてきた上瀬谷から、平和のメッセージを発信していくことは、大変意義深いと考えています。平和的利用の象徴として生まれ変わる上瀬谷を舞台に行われるGREEN×EXPO 2027において、国内外から訪れる多くの方々に、グリーンな社会に向けた技術や取組に加えて、上瀬谷の歴史や平和のメッセージを伝えていくとともに、EXPO後のまちづくりにも継承していきます。

### 政 策 個人版ふるさと納税 立憲党

**問** 市は5年度からふるさと納税の取組を強化し、市内企業の魅力を生かした返礼品開発により、6年度には約5万8千件・約29億円の御寄附をいただきました。一方で、市は、制度本来の目的である「横浜を応援したい」という思いに応える仕組みとして、応援したい事業を指定して寄附でき、寄附の活用状況などを写真付きで紹介する「ふるさと納税独自サイト」を構築しています。この独自サイトを更に活用して、全国はもとより、市民にも寄附を通じた応援の輪を広げていくべきと考えます。

**答** 新たな中期計画では、横浜に関わる方々と計画の理念や戦略・政策等を共有し、多様な主体の連携により、共に横浜の未来に向かっていくことをうたっています。「市独自サイト」等を通じ、各事業の背景や意義などを分かりやすくお伝えすることで、市民や全国の皆様に応援いただけるよう努め、寄せられた御寄附を市政の推進に活用していきます。

### 政 策 新たな中期計画素案 共産党

**問** 行政の役割は、市民の暮らしを守ることであり、それこそが最大の責務です。新たな中期計画においても、市民の暮らしを守ることを柱とすべきと考えます。

**答** 新たな計画では、戦略「市民生活の安心・安全と横浜の持続的な成長・発展」を掲げ、「毎日の安心・安全」「防災・減災」「医療・保健」「こども・子育て」「高齢・長寿」「障害児・者」など、14 の政策群に総合的に取り組んでいきます。基礎自治体として、市民生活の安心・安全に、引き続き、しっかり対応していきます。

### 防 犯 防犯対策の強化 公明党

**問** 我が党は防犯灯や防犯カメラ等の防犯対策の強化を継続要望し、7年第1回定例会では防犯条例の制定と防犯計画の改定を求め、市長は、行政と地域が一体となる条例制定と実効性ある計画の改定を行うと答弁されました。策定中の中期計画では毎日の安心・安全を政策群の一つとし、防犯対策の推進が掲げられている点を高く評価していますが、条例の制定及び計画の策定の方向性について伺います。

**答** 犯罪情勢や社会の変化に対応するため、市の責務を明確化した防犯条例を制定し、条例に基づき体系的な防犯対策を進める防犯計画を策定します。防犯計画には、先端技術の活用による暗がり解消と、安心・安全を実感できる見守りを盛り込むなど、市民、地域、事業者、そして行政が一丸となって、安心で安全なまちを実現していきます。

### まちづくり 横浜国際プールの周辺地域の魅力向上 自民党

**問** 横浜国際プールは老朽化により再整備を行うことが検討され、7年3月には事業計画が公表されました。計画には、北山田駅からのアクセス改善として斜行モノレール導入が盛り込まれ、地元の長年の悲願が実現に向け動き出しています。周辺には歴史ある山田富士公園があり地域イベントも盛んですが、樹林地や施設の老朽化が課題です。再整備を契機として周辺地域の魅力向上につながるような取組も併せて行うべきと考えます。

**答** 再整備に当たっては、施設のリニューアルだけでなく、周辺施設と連携し、地域と一体となったまちの魅力向上、この視点が重要です。隣接する山田富士公園については、樹林地の手入れを行うことで、公園を訪れる方々がより快適に過ごせるようにするなどの取組を進めていきます。



山田富士公園

### 防 災 地域防災拠点におけるペット防災 自民党

**問** 避難所運営ゲーム「HUG」(※)は、カードと図面を使い、災害時の避難所運営を疑似体験する図上訓練で、現実的課題の理解に有効です。先日ペット対策に特化したHUGに参加しましたが、拠点ごとにペット受け入れ体制に差があると対策が進んでいる拠点に負担が集中する懸念があります。全拠点でペット対策に特化したHUGを活用した図上訓練を実施すべきと考えます。

**答** 飼い主が安心して避難するために、身近な地域防災拠点でペットを受け入れられるよう、地震防災戦略において、11 年度までに全ての拠点にペットの一時飼育場所を設けることを目標としています。その実現に向けて、避難所運営ゲームを活用した、図上訓練の実施を拡大していきます。



HUG訓練の様子

**用語解説** **HUG(ハグ)** (文中の \_\_\_\_\_ (※)で表示)  
Hinango(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字。避難所の図面と、避難者や状況が記載されたカードを使い、対応方法を話し合うことで、実践的な避難所運営力を養うことを目的とする訓練



医 療

## D24H(災害時保健医療福祉活動支援システム)

維新会

**問** D24H(※)について、国は都道府県へ活用を周知し、市町村にも閲覧権限を拡大予定です。研修資料等は公開されており、避難所情報や医療ニーズ等の把握のため発災時に運用が想定されます。市は事前の準備として、関係者へのD24Hに関する周知、運用開始時に即応できる取組を行うべきと考えます。

**答** 保健・医療・福祉の情報と生活基盤情報等を一元的に見ることが出来る仕組みですが、現在開発途上にあり、まずは国において、早期に全体を稼働させることが重要です。その上で、災害発生時に職員等が十分に活用できるよう、市としても取組を進めていきます。

用語解説

**D24H(ディートウエンティーフォーエイチ)**(文中の \_\_\_\_\_ (※)で表示)

Disaster Digital information system for Health and well-being の略。災害時に保健・医療・福祉に関するシステムとインフラ状況(道路状況、浸水域等)を統合して迅速に把握し集約・可視化するための、厚生労働省のシステム

医 療

## こどもホスピスへの取組支援

国民主

**問** 金沢区にある「横浜こどもホスピス〜うみとそらのうち」は、命に関わる病気と向き合う子供と家族が、日常の延長を過ごせる施設です。政府は7年度からこどもホスピス支援モデル事業を開始し、全国5自治体を選出しましたが、市もその1つです。市としてこどもホスピスの意義をどのように認識しているか伺います。

**答** がん治療で入退院を繰り返すなど、様々な制約のある子供とその家族が、遊んだり、新しいことを学び、家族と一緒に笑い合い、子供が子供らしく生きることを支える場として、大きな意義があります。金沢区にある「うみとそらのうち」は、令和3年11月の開設以来、97の家族に延べ977回御利用いただき、かけがえのない時間を過ごすことができたとの声が寄せられています。



横浜こどもホスピス〜うみとそらのうち

環 境

## GREEN×EXPO 2027開催後の農業振興地区

自民党

**問** GREEN×EXPO 2027開催後の上瀬谷のまちづくりでは、4つの地区を設け、その1つに「農業振興地区」があります。今、農家を目指す方は少ない一方、この場所では、都市農業を頑張っていくという意志を持った農家が多数います。中でも体験農園を目指す農家も多く、こうした農家の思いをしっかり受け止め、農業振興を進めていくべきと考えます。

**答** 熱意ある農家の皆様とともに、横浜の新たな魅力となるブランド農産物の創出や、大規模な収穫体験エリアの展開を目指して進めます。将来を見据えた営農が実現できるよう、農家の皆様の声をしっかり受け止めるとともに、この地区が、市民にとっても、横浜の農の魅力を生分に体験できる拠点となるよう取り組んでいきます。

環 境

## 動物園における循環型社会に向けた取組

立憲党

**問** 市は「地球1個分で暮らそう STYLE100プロジェクト」を開始し、自然環境との共存等、環境政策に取り組んでいます。種の保存や環境教育を進めている動物園を、環境教育の実践の場として活用し、資源循環の視点を取り入れた取組や、楽しみや体験を通じて来園者に環境保全の意識を広げることが効果的と考えます。動物園における循環型社会に向けた取組について伺います。

**答** 市内のホテルで消費されなかった果物を動物の特別なおやつとして提供いただく取組や、園内の管理作業で伐採した竹をゾウに与え、そのふんを堆肥化して花壇に活用する等、循環的な取組を進めています。市は動物園が3つもある希有な都市であり、こうした取組を広げ、多くの方々、特に子供たちに知ってもらうことは、教育上も非常に効果的と考えています。教育プログラムの充実、SNS等での発信に加えて、動物園という市の宝を通じた循環型社会への学びを深めていく多様な取組を行っていきたいと考えます。



特別なおやつを食べるインドゾウ

交 通

## 高速鉄道3号線の延伸

自民党

**問** 高速鉄道3号線延伸は、あざみ野駅以北の鉄道ネットワーク形成により、沿線や新横浜、港北ニュータウンの活性化、川崎市や多摩地域からの来街者を呼び込む効果が期待されます。しかし、コロナによる利用見込み減少や物価高騰等で課題が顕在化し、国の鉄道事業許可の申請に至っていません。市長のリーダーシップで許可取得に向けた取組を加速していくべきと考えます。

**答** 3号線の延伸は、沿線地域の交通利便性の向上につながるとともに、市北部地域の活性化にも寄与する事業です。引き続き、財源確保について国に働きかけるとともに、鉄道事業許可の取得に向けて事業計画の精査を進めていきます。

教 育

## AI時代における読書活動推進の意義

自民党

**問** AI活用には**プロンプト**(※)入力が必要であり、言葉の知識が活用の成否を左右します。言葉の手札を増やす最も効率的な方法は読書です。AI時代だからこそ読書の価値は高まっており、AIスキル向上に必要な力を育む読書の意義について見解を伺います。

**答** 流通する様々な情報から必要なものを適切に選択し、自分の考えをAIに正確に指示し、活用していくためには、論理的な思考力や表現力が求められます。読書には、視野を広げ、こうした力を養う効果があります。AI活用に資する視点からも非常に重要だと考えますので、読書活動の一層の推進に取り組んでいきます。

用語解説

**プロンプト**(文中の \_\_\_\_\_ (※)で表示)

生成AIサービスを使用する際のAIへの質問や作業指示

教 育

## デジタル時代における子どもたちの成長を支えるICT教育

長谷川

**問** 小中高生のほとんどがインターネットを利用し、国立成育医療研究センターの5年度の調査結果では5人に1人が依存を強く疑われる状況にあるとされています。過度な利用による集中力や学習能力の低下、精神面への悪影響が懸念されます。学校では個別最適な学びに大きな役割を果たしていますが、一方で、インターネットの使用に伴う弊害についてどのように認識しているのか伺います。

**答** 国の統計によると、ネット利用時間の1日平均は、小学生で4時間弱、中学生は5時間以上であり、SNS等をきっかけとした小学生の事故等も10年で約3倍になっています。また、睡眠や健康、生活環境に影響があると認識しています。こうした課題に対応するため、学校での啓発活動に加えて、家庭との連携、国による対策の強化が求められていると考えます。



議案に対する各会派の賛否一覧

議員別の賛否一覧及び議案の内容については、市会ウェブサイトをご覧ください。

令和7年 第4回市会定例会

○は賛成、×は反対、－は欠席

		議 案 名	自 (32)	公 (15)	立 (12)	維 (7)	国 (6)	共 (5)	よ (2)	太 (1)	井 (1)	市 (1)	無 (1)	風 (1)	え (1)	ト (1)	議決結果	
市長提出議案	条例の制定	●区づくり推進基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決
		●スポーツ・レクリエーション振興基金条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	－	×	○	○	○	○	○	○	可決
	条例の改正	●市の保有する情報の公開に関する条例の一部改正●地区センター条例の一部改正●スポーツ推進審議会条例の一部改正●文化基金条例の一部改正●中央卸売市場条例の一部改正●児童相談所条例の一部改正●下水道条例の一部改正●水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決
		●手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決
		●個人情報の保護に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	－	×	○	○	○	○	○	○	可決
		●一般職職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	可決
	その他の議案	●東寺尾第465号線等市道路線の認定及び廃止●鶴見区大黒町所在土地と同町所在市有土地との交換●地区センターの指定管理者の指定●公会堂の指定管理者の指定●地域ケアプラザの指定管理者の指定●保護施設の指定管理者の指定●寿生活館の指定管理者の指定●生活自立支援施設はまかぜの指定管理者の指定●障害者研修保養センター横浜あゆみ荘の指定管理者の指定●高齢者保養研修施設ふれーゆの指定管理者の指定●スポーツ医科学センターの指定管理者の指定●総合保健医療センターの指定管理者の指定●三殿台考古館等の指定管理者の指定●当せん金付証券発売の限度額●川崎市道の路線の認定に関する承諾●金沢区民文化センター（仮称）新築工事（建築工事）請負契約の締結●東部方面斎場（仮称）新築工事（建築工事）請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決
		●動物園及び公園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	×	○	－	×	○	○	○	○	○	○	可決
		●学校施設の目的外使用不許可処分に係る審査請求に関する諮問●港湾施設使用不許可処分に係る審査請求に関する諮問●退職手当支給制限処分に係る審査請求に関する諮問	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	補正予算	●中央卸売市場費会計補正予算（第1号）●一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
●一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○	○	可決	
議員提出議案	意見書の提出	●国立大学法人運営費交付金等の基盤的経費の充実に関する意見書（政策経営・総務・財政委員会） ●リチウムイオン電池の適正処理の推進を求める意見書（脱炭素・GREEN×EXPO推進・みどり環境・資源循環委員会）	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決

会派別議員一覧（令和7年12月18日現在）	自由民主党横浜市議員団（自）32人	日本維新の会横浜市議員団・無所属の会（維）7人
	●青木 亮祐 ●東 みちよ ●伊波俊之助 ●磯部 圭太 ●おさかべさやか ●大桑 正貴 ●鴨志田啓介 ●川口 広 ●黒川 勝 ●小松 範昭 ●佐藤 茂 ●佐藤 祐文 ●斉藤 達也 ●酒井 誠 ●清水 富雄 ●渋谷 健 ●白井 亮次 ●鈴木 太郎 ●瀬之間康浩 ●関 勝則 ●田野井一雄 ●長谷川琢磨 ●福地 茂 ●伏見 幸枝 ●藤代 哲夫 ●増永 純女 ●松本 研 ●山下 正人 ●山田 一誠 ●横山 正人	●いそべ尚哉 ●伊藤くみこ ●大山しょうじ ●柏原すぐる ●くしだ久子 ●坂井 太 ●田中 紳一
	公明党横浜市議員団（公）15人	国民民主党横浜市議員団・無所属の会（国）6人
	●安西 英俊 ●市来栄美子 ●尾崎 太 ●木内 秀一 ●行田 朝仁 ●久保 和弘 ●斉藤 伸一 ●高橋 正治 ●竹内 康洋 ●武田 勝久 ●竹野内 猛 ●中島 光徳 ●仁田 昌寿 ●福島 直子 ●望月 康弘	●熊本 ちひろ ●こがゆ康弘 ●坂本 勝司 ●深作 祐衣 ●二井くみよ ●横溝じゅん子
	立憲民主党横浜市議員団（立）12人	日本共産党横浜市議員団（共）5人
	●越久田記子 ●大岩真善和 ●かざまあさみ ●田中 ゆき ●高田 修平 ●中山 大輔 ●花上喜代志 ●藤崎浩太郎 ●麓 理恵 ●森ひろたか ●谷田部孝一 ●山浦 英太	●宇佐美さやか ●大和田あきお ●白井 正子 ●古谷 靖彦 ●みわ智恵美
地域政党よこはま横浜市議員団（よ）2人		●関 嵩史 ●山田桂一郎
自由民主党太田正孝（太）		●太田 正孝
市民の党 日本（市）		●梶村 充
横浜の風（風）		●荻原 隆宏
大野トモイで自由と民主主義を守り立憲主義を实践する会（ト）		●大野トモイ
井上さくら（井）		●井上さくら
無所属（無）		●輿石 かつ子
長谷川えつこ（え）		●長谷川えつこ

可決

市に深い関わりのある事柄について、国会及び国や県などに対して意見書を提出することで、市会としての意思を表明しています。

●

国立大学法人運営費交付金等の基盤的経費の充実に関する意見書（要旨）

政府におかれては、意欲ある学生が安心して学ぶことができる環境を整えることや、それぞれの大学が求められる役割を着実に担い続けることができるよう、国立大学に対する運営費交付金等の基盤的経費を充実するとともに、あわせて公立・私立大学への支援の充実を図ることを強く要望する。

●

リチウムイオン電池の適正処理の推進を求める意見書（要旨）

政府におかれては、次の措置を行うよう強く要望する。  
1 リチウムイオン電池の危険性や再資源化を踏まえた適正な廃棄方法について、官民連携で、より一層積極的な広報、啓発を行うこと。  
2 消費者が分別しやすく再資源化につながる商品づくりを推進するよう事業者へ指導すること。  
3 効果的かつ効率的な回収・処理体制を拡大生産者責任の観点で構築すること。  
4 家庭から排出されるリチウムイオン電池等の処理体制の構築に当たっては市町村に財政負担を生じさせないようにすること。

令和8年第1回市会定例会の日程

1月28日（水）から3月24日（火）まで開催される予定です。日程は変更される場合があります。最新の日程は市会ウェブサイトをご確認ください。

■本会議の開催予定

1月28日（水）10:00～（会期決定）  
2月10日（火）10:00～（一般議案上程・質疑・付託、予算上程・説明）  
2月18日（水）10:00～（一般議案議決、予算代表質疑）  
2月20日（金）10:00～（予算関連質疑、予算特別委員会設置・付託）  
3月24日（火）14:00～（予算議決）

横浜市区画 日程 検索

横浜市会X

横浜市区画 X

検索

横浜市会Facebook

横浜市区画 FB

検索

問合せ 議会局秘書広報課

☎ 045 (671) 3040 📠 045 (681) 7388

✉ gi-kouhou@city.yokohama.lg.jp